

農技セ第5508号
令和7年6月19日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和7年度農作物病害虫発生予察情報について

令和7年度農作物病害虫発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

令和7年度病害虫発生予察注意報第2号

令和7年6月19日
徳 島 県

6月第1半旬から第3半旬に行ったサツマイモ栽培圃場のシロイチモジヨトウ（写真1～3）を対象としたフェロモントラップ調査において、成虫の誘殺数が平年に比べて多く、今後、本幼虫による被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

生産現場におきましては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：サツマイモ
病害虫名：シロイチモジヨトウ

1. 発生地域 県北東部サツマイモ栽培地帯
2. 発生時期 6月上・中旬～
3. 発生程度 多（前年より多く、平年より多い）

4. 注意報発令の根拠

- (1) 県内のサツマイモ栽培圃場4地点に設置したフェロモントラップ調査において、6月第1半旬から第3半旬までの平均誘殺数が447頭と、平年(136頭)の約3.3倍となった(図1)。

特に、徳島市川内町では426頭と、平年(107頭)の約4.0倍(図2)、鳴門市里浦町では909頭と、平年(251頭)の約3.6倍となった(図3)。

- (2) 高松地方气象台が6月12日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みとされており、今後、栽培圃場への飛来および加害の増加が予想される。



写真1 シロイチモジヨトウ卵塊

写真2 シロイチモジヨトウ幼虫

写真3 シロイチモジヨトウ成虫

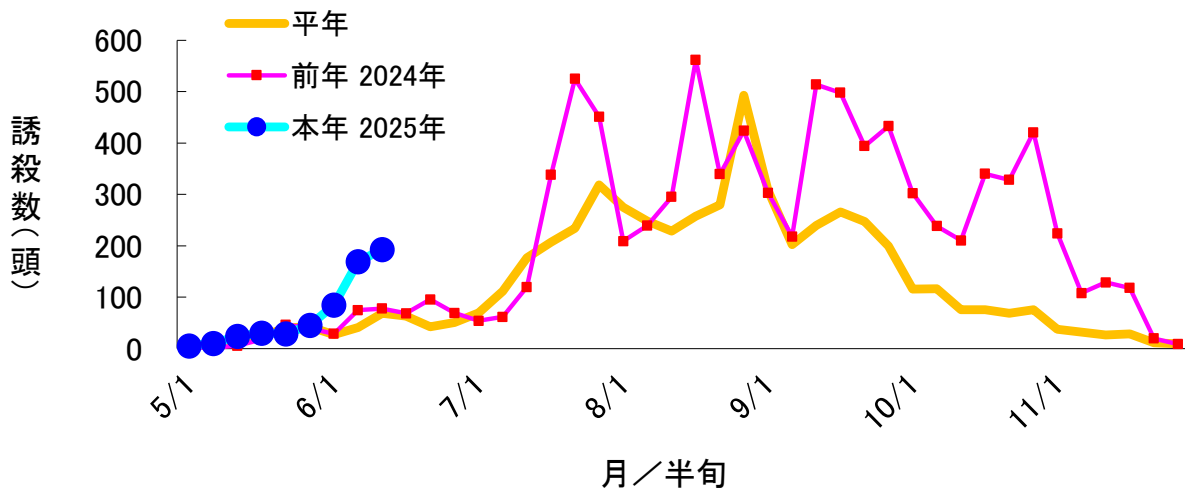


図1 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移
(徳島市、鳴門市、松茂町のサツマイモ圃場4地点平均)

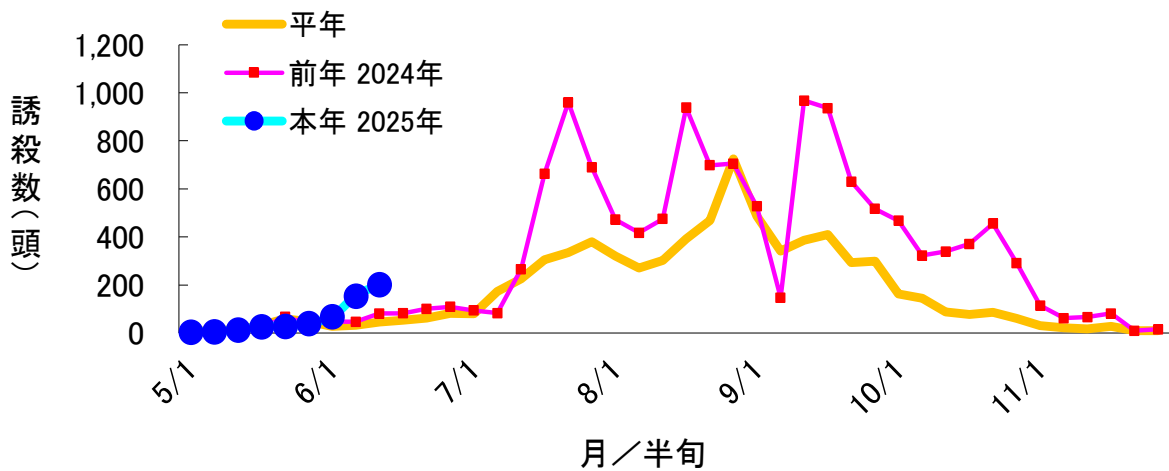


図2 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移
(徳島市川内町サツマイモ圃場)

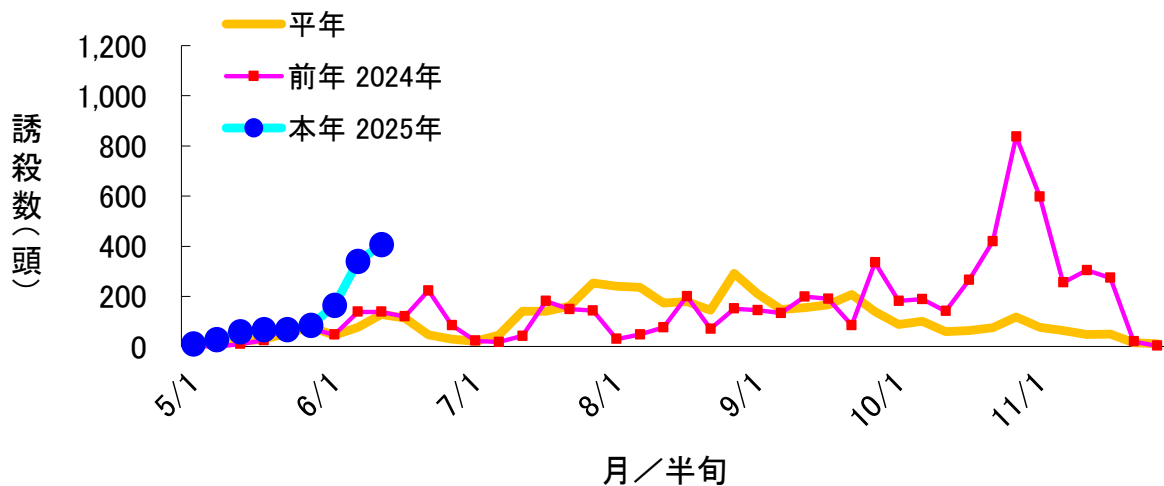


図3 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移
(鳴門市里浦町サツマイモ圃場)

5. 防除法等

- (1) 中・老齢幼虫には薬剤の効果が低くなるので、若齢幼虫期に防除する(表1)。
- (2) 卵塊や分散する前の若齢幼虫を発見したら、速やかに捕殺する。
- (3) 防除については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)

- (4) 今後の発生動向については、徳島県立農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病虫害防除所の各種データ・フェロモンのページを参考にする。

(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/various-data/various-data/7303431/>)

6. 注意点

県内の野菜栽培圃場9地点に設置したフェロモントラップの調査でも、6月第1半旬から第3半旬までの平均誘殺数が217頭と、平年(76頭)の約2.9倍となり、増加傾向である。

表1 かんしょでシロイチモジヨトウに登録のある農薬(令和7年6月11日現在)

薬 剤 名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	I R A C コード
アフーム乳剤	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	6
コテツフロアブル	2000～4000倍	収穫前日まで	2回以内	13
ブロフレアSC	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	30